

2021年度 事業計画書

(全編)



Koyama healthcare group

湖山医療福祉グループ



社会福祉法人 大和会



グループ共通理念と法人理念

グループ共通理念 自らが受けたいと思う医療と福祉の創造

法人理念 人権の尊重を礎に、和の精神と人間愛、愛と共生を
共通理念とし、生命の源である「食」を重視した
事業活動を推進する。

経営方針 個を大切にし、心を満たす医療・福祉の実現
よろこびと感動の共有
地域社会との対話と交歓
安定と健全な発展
誇れる職場の創設

法人重点推進事項

【新型コロナウイルスを中心とした感染症対策】

1. Withコロナの新たな介護スタイルの創造と実践

【人材確保と育成の強化推進】

1. 新卒・第二新卒等未経験者の採用拡大
2. 法人間における人材交流等によるスキルアップ及び人材の弾力的活用
3. 介護ロボット等ICT化推進による業務省力化及び労働強度の軽減
4. 人事評価制度の構築と導入

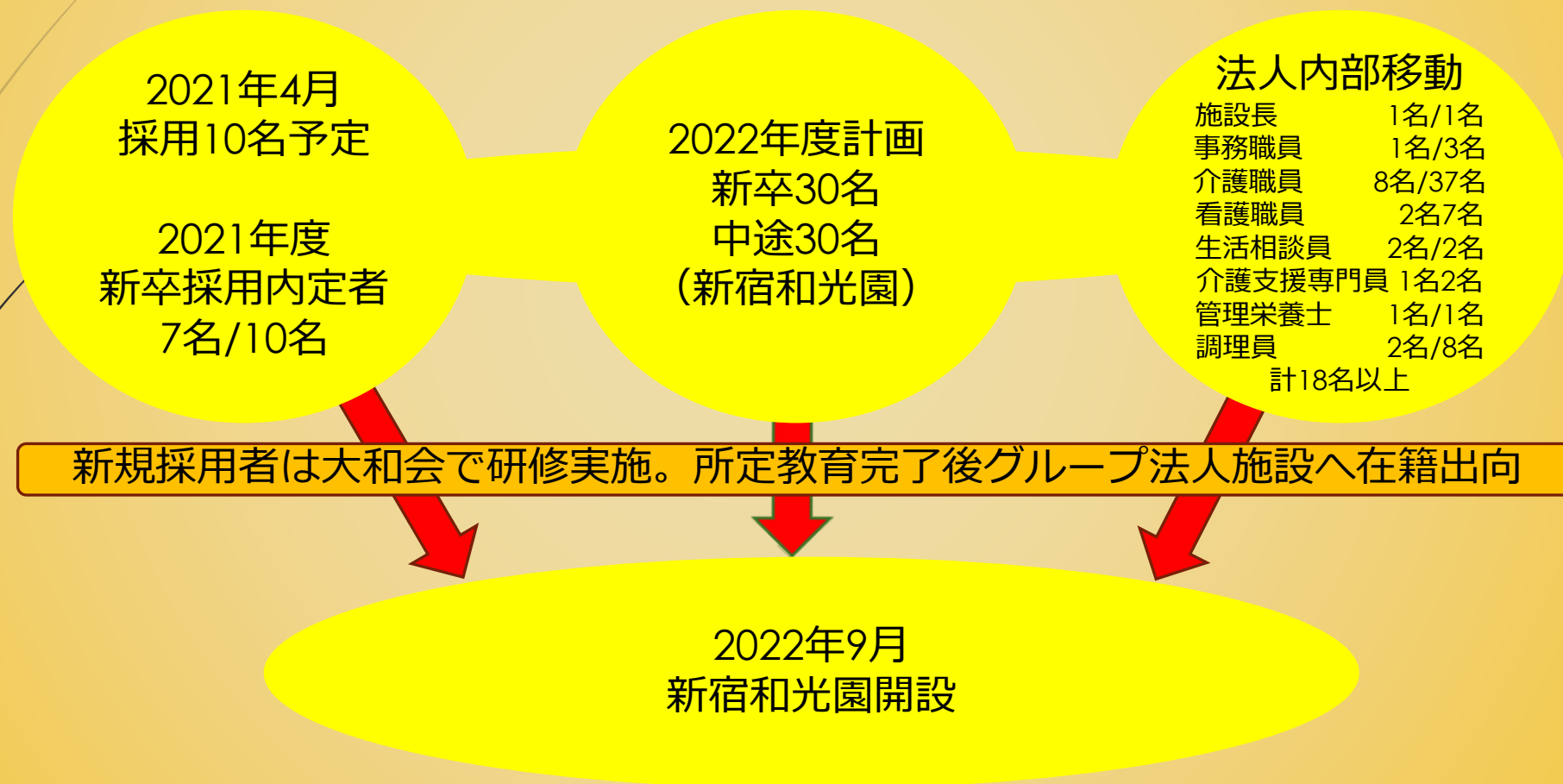
【湖山医療福祉グループの共通取り組み事項を実行する】

1. こやまケアISOの周知と導入
2. 法人間相互監査の実施
3. 湖山医療福祉グループにおける各種委員会・研修会への参加

【中長期経営計画の見直し】

2021採用計画

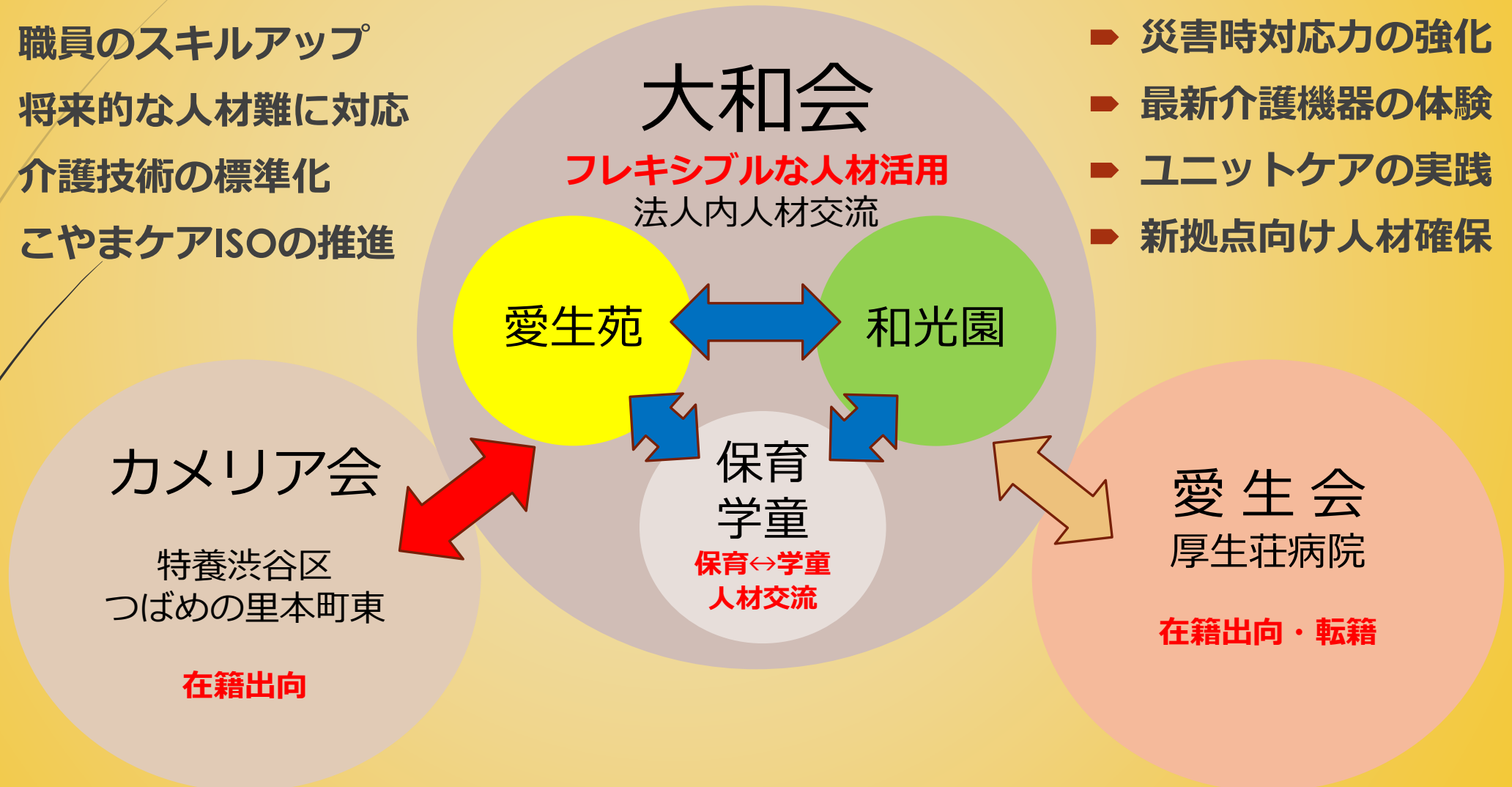
- ▶ 年間目標人数に基づいた採用
- ▶ 新宿和光園開設準備人員の計画採用



首都圏エリアのグループ間在籍出向

- 職員のスキルアップ
- 将来的な人材難に対応
- 介護技術の標準化
- こやまケアISOの推進

- 災害時対応力の強化
- 最新介護機器の体験
- ユニットケアの実践
- 新拠点向け人材確保



湖山グループ共通取組事項の推進

① こやまケアの導入とISO9001取得

法人こやまケア委員会での各拠点取り組み進捗確認

チームケア学会への積極的参加

ISO9001審査受審に向け組織再編及び定期的な進捗確認実施

② 法人間内部監査の実施

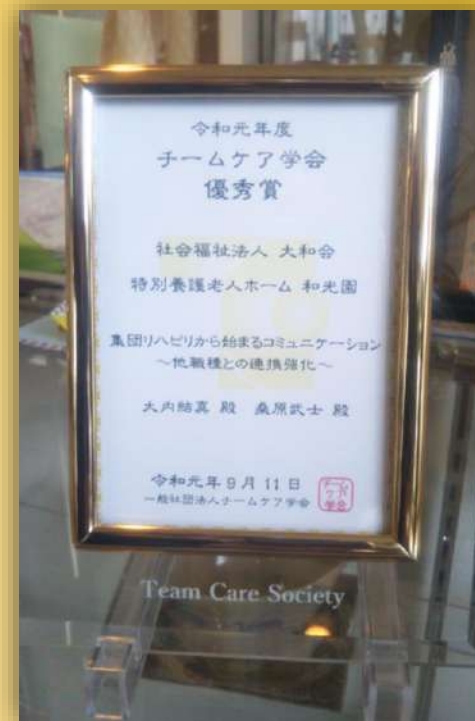
こやまケア運営委員会メンバーの刷新

法人間内部監査の主体的実施

③ 2021湖山医療福祉グループ研修・専門委員会への参加

年間スケジュールと、個人目標管理面接をもとに年間参加予定者を決め、研修参加意識をもって、現場へのフィードバックとチェックを行う。

また首都圏看護部会、首都圏相談室にも積極的に参加



2021年度 湖山医療福祉グループ こやまケア運営委員会メンバー確認表		委員長：	上野忍 (中部エリア)	副委員長：	戸田茜 佐藤信一	(東北エリア) (首都圏エリア)	統括管理 責任者：	永田康代 (西日本エリア)	← 執行部 メンバー ↓
*任期についてご留意いただき、事前に規則をご確認ください。		*委員長、副委員長が事務局機能も兼ねることとする。							
エリア	法人名	担当理事	エリア代表 (エリアで1名)	エリア副代表 (エリアで1名)	委員会メンバー・研修担当者 (各法人で1～2名)		管理責任者 (各法人で1名)	ISO事務局 (各法人で1名)	チーム活動 チームリーダー
東北 エリア	医療法人社団 平成会	山内常務経営理事	戸田茜 (株) テイクオフ	木村利恵 (社) 平成会	佐々木和之、田部光行、草野祐美		佐々木和之	佐藤貴哉	チームケア
	社会福祉法人 平成会				木村利恵 城取桂子		芳賀るみ子	江川富美子	
	医療法人社団 湖聖会(宮城)				佐藤隆 齋藤寛太		菊地俊彦	熊谷洋輔	
	社会福祉法人 湖星会	星経営理事			二階堂梨恵、小澤亜恵、雨宮康平		寺島彩織	加藤昇平	①宮下真理子
	社会福祉法人 緑愛会	高橋経営理事			岡崎雄一郎 久保智美		木島知子	大畠美紗子	
	医療法人社団 緑愛会	加藤常務経営理事			佐藤幸男 鈴木亜紀		村上英樹	土屋理奈	橘高恵子
	株式会社テイクオフ				戸田茜 内田かつみ		高橋広幸	高橋孝広	
健康倶楽部北海道	三浦七恵 石部勉		秋山大地	戸田和樹	研修				
首都 圏 エ リ ア	社会福祉法人 苗場福祉会	星経営理事	亀田克也		南雲未来 田中勝人		飯塚千賀子	南雲未来	①南雲未来
	社会福祉法人 草加福祉会	星経営理事			星正英 大坪太一		花城久子	新田尚文	
	社会福祉法人 白山福祉会	財津経営理事			佐々木啓介(片平隼人) 有松蘭(丸井聡美)		松尾博美	有松蘭	雨宮康平
	社会福祉法人 狭山公樹会	星経営理事			成山みゆき 吉盛恵子				
	一般財団法人 愛生会	高橋経営理事			野際雄一(八木澤泰仁) 鈴木陸(中村慶子)		五箇忠司	大河原祥光	①遠藤真由美
	社会福祉法人 大和会	平出経営理事			大野公士		遠藤直美	小野澤学	
	医療法人社団 湖聖会(東京)	稲生経営理事	守屋淳子、池村正樹、山匠		稲生純也	菅野僚	高橋舞子		
	社会福祉法人 カメリア会	稲生経営理事	穴倉健一 淡路拓也		高橋純人	東間陽一			
	株式会社日本ライフデザイン	加藤常務経営理事	大平隆史		桑原美香	桑原美香	藤枝純子		
	株式会社スマイルパートナーズ	加藤常務経営理事	倉持富美江 宮崎智和		高橋純人	藤枝純子			
株式会社ケアハーモニー	加藤常務経営理事								
中 部 エ リ ア	医療法人財団 百葉の会	高木常務経営理事	宮下真理子 (藤友五幸会)	齋藤雄介 (湖成会)	上野忍 萩原大介		岩邊友紀	荒木弘海	①田部光行
	社会福祉法人 百葉の会				*		中田卓見		
	医療法人社団 藤友五幸会				宮下真理子 梅村典義		宮下真理子	勝又かおる	
	社会福祉法人 湖成会	財津経営理事			齋藤雄介、遠藤真由美、荻野伸子		財津経営理事	遠藤真由美	
	医療法人 北辰会 みらいあグループ	高橋経営理事			今村真澄 青山博昭		山本良博	青山博昭	上野忍
西 日 本 エ リ ア	医療法人社団 日翔会	原田常務経営理事	橘高恵子 (株) ライフアシスト	神原良治 (ひがしの会) 〇〇 (水澄み会) 今倉慎吾 (福) 日翔会	佐々木真由美		原田和美	山中智広	*各チームルール
	社会福祉法人 日翔会				今倉慎吾		松本敏紀	永見嘉子	
	医療法人社団 ひがしの会				神原良治		荒木淳一	亀井雄太郎	
	医療法人社団 水澄み会	瀧川常務経営理事							上段→新リーダー 下段→2020リーダー
	社会福祉法人 水澄み会	加藤常務経営理事							
	株式会社ライフアシスト	加藤常務経営理事			橘高恵子		門田晃	田家朋幸	

2021年度 湖山医療福祉グループ年間研修計画 オンライン版

研修
目的

- 湖山医療福祉グループとしてサービスレベル・質向上につなげる研修を開催する。
- 日々の現場業務に必要な知識・技術向上を目指す研修を開催する。
- 事例研修の地域開催を通じて、知名度アップと職員の採用確保につなげる。
- 各法人で研修を企画・運営できる人材を育成する。

こやまケア運営委員会

作成日:2021.2.12

場所

ZOOMを使用し各事業所からつなぐ

	内容	研修目的及び参加対象	計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上級	経営基礎講座	目的 自身の後継者を育成し、事業拡大・組織の成長を目指す。また多角的視野と経営スキルを身に着け時代の環境変化を乗り越えられる人材の発掘と集中教育。	開催日							年1回2日間開催					
	講師: 高倉代表補佐	対象 1法人1人以上、概ね法人売上15億円に1人以上選出	時間												
中級	上級リーダー研修	目的 施設マネジメントに必要な考え方、動き方、能力、心構えを学び、施設マネジメントを成立させ、維持することができる。	開催日								13日	11日	15日	12日	12日
	講師: 高口部長	対象 中級リーダー研修受講者、専門職能に加えてマネジメントが自身の職務に求められている事を自覚している職員。	時間								首都圏・東北・西の3エリア合同				
初級	経営初級講座	目的 若手職員に対し、マネジメント意識・モチベーション向上・キャリア観形成を目的としたグループ研修です。	開催日									年1回2日間開催			
	講師: 高倉代表補佐	対象 新卒で入社5年の職員	時間												
	中級リーダー研修	目的 問題意識のあるリーダーが現場を活性化させる力を身に着ける。	開催日							首都圏	16日	21日	18日	15日	21日
講師: 高口部長	対象 初級リーダー研修受講者、チームの業務改善や事業所の視点をもちリーダーになる者。副主任、主任クラス	時間							東北	7日	5日	9日	6日	6日	
初級	初級リーダー研修	目的 リーダーの心構えと業務全般を整理し理解する。	開催日	首都圏	18日	15日	22日	17日	22日						
	講師: 高口部長	対象 チームの中でこれからリーダーになる者 部署・部門リーダー、副主任クラス	時間		東北	6日	4日	8日	5日	3日					
スキルアップ	研修プランナー育成研修	目的 グループ理念に基づく体系的な研修の組み立てができる人材を育成する。	開催日					8月上旬					1月中旬		
	講師: こやまケア運営委員会	対象 法人内で研修での学びを水平展開し講師を担うことができる者	時間					2日間					2日間		
	内部監査員スキルアップ研修【講師向け】	目的 こやまケアの理念にそった講師ができるようになる。グループテキストを有効に活用できる。	開催日						9月						
	講師: 中原 登世子先生	対象 各法人の内部監査員養成研修の講師、講師養成研修受講修了者	時間												
	内部監査員スキルアップ研修【監査員向け】	目的 こやまケア行動指針から現場の監査に紐づけでき、有効な気づきに繋がる監査ができる。	開催日												
	講師: 中原 登世子先生	対象 こやまケア内部監査員資格保有者、内部監査リーダー経験者、内部監査リーダー予定者	時間												
こやまケア内部監査講師養成研修		目的 法人内で内部監査員の養成研修ができるようになる。	開催日			6月下旬									
講師: 中原 登世子先生	対象 法人内監査リーダー経験者、法人間監査経験者、法人内ISO研修担当者	時間			2日間										

こやまケアISOの推進

こやまグループが目指すもの

湖山グループの各施設は、お客様に対する集団的な処遇を一切廃止し、限りなくお一人おひとりに寄り添い、お年寄りが生きる希望や喜びを持ち続け、笑顔の中で生き生きと暮らせるようなケアを目指します。

そのために、定期的な会合を開き進捗状況を確認しあい、全施設が足並みを揃えてこやまケアの確立に向かって努力をします。

こやまケア行動指針

- ・ 私達は 全てのお客様を優しくお迎えし、お一人おひとりに寄り添うケアを致します。
- ・ 私達は お客様の歩んできた人生を大切にし、その方らしさを尊重します。
- ・ 私達は お客様が安心して過ごせるよう、目配り、声配り、心配りを忘れません。
- ・ 私達は お客様の夢や希望をかなえることを一番の喜びとします。
- ・ 私達は お客様の喜び、悲しみ、楽しみをともに分かち合います。
- ・ 私達は お客様の生き生きとした輝く笑顔が何よりも大好きです。
- ・ 私達は お客様の生きる力を引き出すためにチーム全体で取り組みます。
- ・ 私達は お客様の家族や大切な人との交流が促されるよう対応致します。
- ・ 私達は お客様のプライバシーを何事からも守ります。
- ・ 私達は お客様のお体の具合に常に気を配ります。

こやまケアって何？

他者(高齢者)を尊重し
支援する・寄り添うという
こころのあり方を



専門的ケアとして
実践すること

かな？

【中長期経営計画の骨子】

○新規事業展開

【高齢系】 令和4年9月、新宿区市谷薬王寺「新宿和光園」開設予定
その他、都内特別養護老人ホームの公募申請を並行して実施。

【児童系】 やまと保育園のサテライト化検討（駅周辺の開発に合わせた市場移動）
多摩市及び近隣市等における新規認可保育所等の公募申請を行う。
多摩市近隣の学童クラブ民間委託等の公募申請を行う。

○既存施設の建替

【高齢系】 老朽化した和光園・和光園ケアセンターの建替を行う。（5~10年前後を目安として）
和光園建替タイミングに合わせ、愛生苑・ケアハウスの延命修繕の実施。

【児童系】 老朽化したやまと保育園の移転建替えを行う。（2~5年後を目安として）

○既存施設の改修・リニューアル

【共通】 建替までの修繕についてアイム(株)よりコンサルティングを受け、適切な改修を実行する。

新規事業展開

○ 特別養護老人ホーム新宿和光園（令和4年9月開設予定）

住所：東京都新宿区市ヶ谷薬王寺町43-1 特別養護老人ホーム 12名／1ユニット 地上4階建て
1フロア2ユニット×4F 定員 96名（うちショート12名）

令和3年度

建設工事 4月着工～令和4年6月末竣工予定

令和3年度 出来高60% 予定

施設整備補助金交付申請（東京都及び新宿区）

定借一時金補助金交付申請（東京都）

賃料補助交付申請（当初5年間・東京都）

開設準備室（四ツ谷三丁目）職員採用・建設事務所

既存施設職員の在籍出向

○ その他継続して新規事業を推進します。



都内特別養護老人ホームの事業展開と 多摩市周辺における児童系施設の展開

グループ施設との連携強化推進



大規模災害・感染症対策

▶ 事業継続計画の見直し

- ① 震災時対策の見直し
- ② 風水害対策の策定
- ③ ②の避難計画の策定
- ④ BCP検証訓練の実施

▶ 自治体・地域との防災連携強化

- ① 地域・自治体合同防災訓練の実施
- ② 福祉避難所の周知及び協力要請

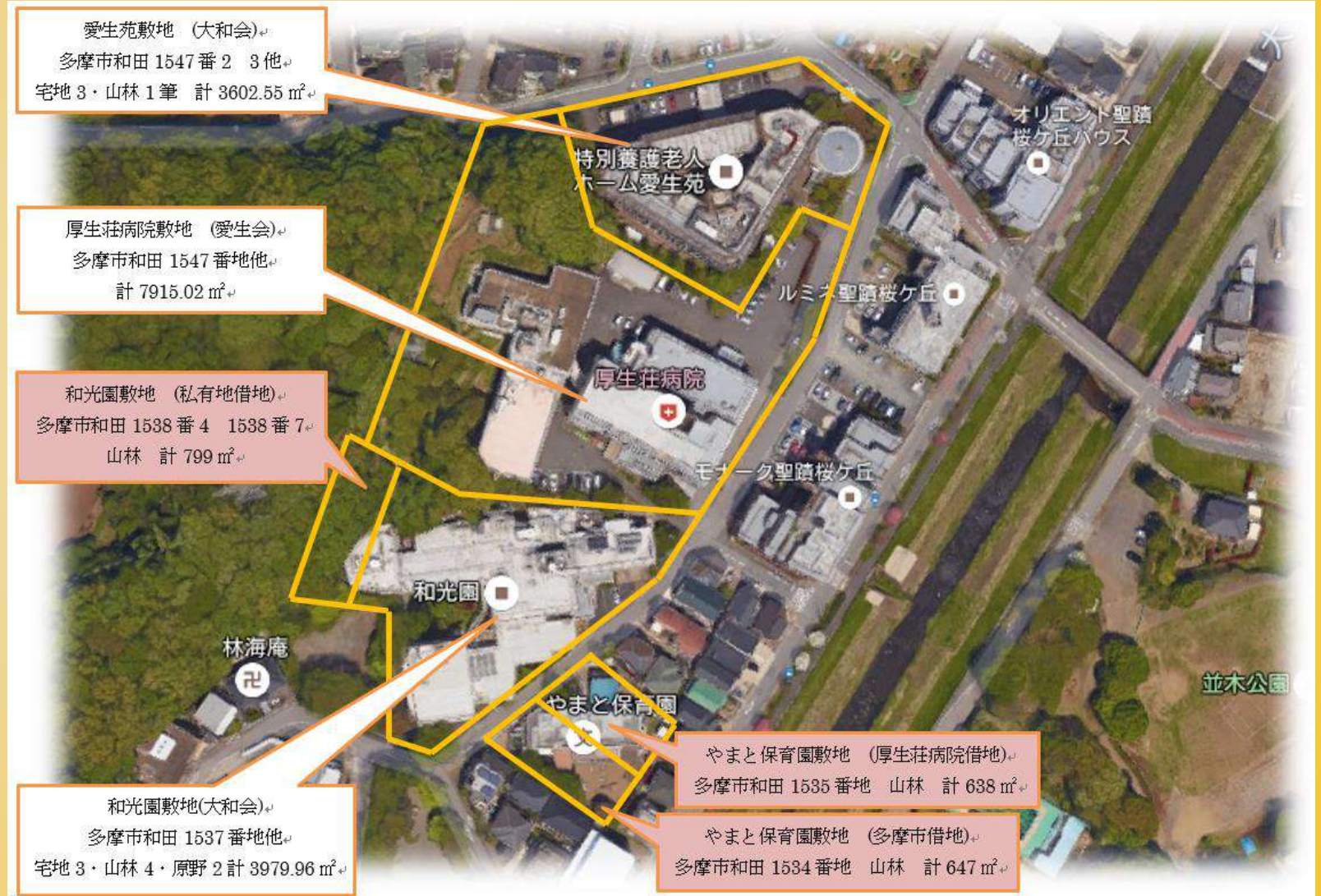
▶ 新型コロナウイルス等感染症対策

- ① 感染症マニュアルの見直し
- ② 新型コロナウイルス 対応マニュアルの策定
- ③ 厚生荘病院との連携強化



既存施設のリニューアル及び建替について

大和会・愛生会 土地概略図



2021年度 予算

	定員	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支 差額	資金収支差額
本部		643	3,621	▲2,978	▲1,978
愛生苑	80名	375,513	362,108	13,405	▲20,077
愛生苑ケアハウス	16名	39,875	36,898	2,977	1,109
和光園	130名	810,298	777,384	32,914	31,677
やまと保育園	100名	197,080	187,055	10,025	0
やまとさくら保育園	60名	158,898	157,181	1,717	1,800
第二小学童クラブ	135名	72,395	70,132	2,263	1,079
和光園診療所		17,818	16,148	1,670	370
小計		1,672,520	1,610,527	61,993	13,890
新宿和光園（準備）	96名	1	56,219	▲56,218	▲56,446
合計		1,672,521	1,666,746	5,775	▲42,466

拠点別事業計画

- 1. 愛生苑
- 2. 愛生苑ケアハウス
- 3. 和光園
- 4. やまと保育園
- 5. やまとさくら保育園
- 6. 多摩市第二小学童クラブ



愛 生 苑



【重点推進事項】

- 新型コロナウイルスに関する取り組み
 - ア) 感染拡大・クラスターを起こさないケアサービスの標準化
 - イ) 新型コロナウイルス対応マニュアルの見直し、ゾーニングやシミュレーション訓練の実施
 - ウ) Withコロナでの安全な面会、余暇、地域公益活動の実施
- 人材確保と育成、新組織体制の構築
 - ア) 新宿和光園開設に向けた人材の確保と育成・核となる在籍職員の養成
首都圏グループ法人への在籍出向・転籍の推進
 - イ) 個人別年間研修計画の作成、個性・特性を生かした適材適所の人事。
- 利用者サービスの充実化
 - ア) こやまケア推進、ISO取得
 - イ) チーム愛生苑による「安心」「安全」「安楽」な介護の推進
- 老朽化した建物の修繕、特性のある地域に求められる施設づくり
 - ア) 建物の修繕老朽化対策・補強。整理整頓、清掃の行き届く古くてもきれいな施設へ。
 - イ) コロナ渦での地域公益活動の実施、ユーモラスのある施設づくり、地域から求められる社会資源としての施設づくり。

愛 生 苑

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	375,513	389,985	▲1,447
事業活動支出	362,108	368,919	▲6,811
事業活動収支差額	13,405	21,066	▲7,661
施設整備等収支	▲22,861	▲10,476	▲12,385
その他収支	▲10,621	▲25,579	14,598
当期資金収支差額	▲20,077	▲14,989	▲5,088
稼働率	97.5%	97.5%	

収入面 稼働率97.5% 新規加算の算定 コロナ渦での安全な入所調整

支出面 人件費 人材の流動化による紹介手数料の削減 在籍出向

冷温水発生器の更新 ナースコール入替

経費節減策 法人間共同購入の推進

愛生苑ケアハウス



【重点推進事項】

- 新型コロナウイルスに関する取り組み
 - ア) 感染拡大・クラスターを起こさないケアサービスの標準化
 - イ) 新型コロナウイルス対応マニュアルの見直し、ゾーニングやシミュレーション訓練の実施
 - ウ) Withコロナでの安全な面会、余暇、地域公益活動の実施
- 人材確保と育成、新組織体制の構築
 - ア) 新宿和光園開設に向けた人材の確保と育成・核となる在籍職員の養成
首都圏グループ法人への在籍出向・転籍の推進
 - イ) 個人別年間研修計画の作成、個性・特性を生かした適材適所の人事。
- 利用者サービスの充実化
 - ア) こやまケア推進、ISO取得
 - イ) チーム愛生苑による「安心」「安全」「安楽」な介護の推進
- 老朽化した建物の修繕、特性のある地域に求められる施設づくり
 - ア) 建物の修繕老朽化対策・補強。整理整頓、清掃の行き届く古くてもきれいな施設へ。
 - イ) コロナ渦での地域公益活動の実施、ユーモラスのある施設づくり、地域から求められる社会資源としての施設づくり。

愛生苑ケアハウス

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	39,875	38,146	1,729
事業活動支出	36,898	38,142	▲1,244
事業活動収支差額	2,977	4	2,973
施設整備等収支	▲6,720	0	▲6,720
その他収支	4,852	5,386	▲584
当期資金収支差額	1,109	5,390	▲4,281
稼働率	100%	98.5%	

収入面 待機者増大策（地区食事会にてチラシ頒布）特別加算申請 他
 支出面 人件費 人材の流動化による紹介手数料の削減 派遣職員の適正化
 経費節減策 法人間共同購入の推進

和 光 園

【重点推進事項】

- 人材対策の推進
 - ア) 感染症対策の強化と徹底
 - イ) 継続して同一法人内法人間特別養護老人ホーム間の人材交流を促進する。
 - ウ) 年間研修計画の作成、事前事後面談の徹底、目標管理の実施
 - エ) 組織体制再編・キャリア段位制度の継続と人事評価導入に向けて制度整備
- 利用者サービスの充実化
 - ア) こやまケア推進（法人間内部監査・チームケア学会・グループ研修参加）
 - イ) 感染症対策を強化した新たなサービス体制の整備。
 - ウ) 第三者評価の結果フォローの徹底。利用者サービスの改善及び向上に結び付ける。
- 地域貢献 地域との新たな交流の仕組みの検討
- 経営目標管理
 - ア) 職員状況管理及び月次進捗管理と分析を行い、適正な収支管理を行う。イ) 第8期介護保険制度改正対応
- 建物老朽化対策 建物診断による建て替えまでのスケジュール策定
- 大規模災害・感染症に対するリスクへの取組
 - 災害及び感染症BCPの策定と想定訓練



和 光 園

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	810,298	814,737	△4,439
事業活動支出	807,587	773,291	34,296
事業活動収支差額	2,710	41,446	△38,736
施設整備等収支	△1,525	△34,646	33,121
その他収支	3,288	3,342	△54
当期資金収支差額	4,473	10,142	△5,669
稼働率	98.0	98.0	

収入面 稼働率 特養98.0%、一般デイ80%・認知症デイ55%

入所・ショート営業強化及びコロナ予防対策、待機者精査

支出面 人件費 人材の流動化による紹介手数料の削減 派遣職員の適正化

経費節減策 法人間共同購入の推進・予算管理の徹底

やまと保育園



【重点推進事項】

○育成の推進

- ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化と人材育成の仕組みを構築する。
- イ) 個人別年間研修計画の作成と面談の徹底、適切な研修受講を促し、個人の目標を明確化する。
- ウ) やまと保育園移転建替計画及び中長期修繕計画の策定。
- エ) 和田エリアの保育需要低下を受け、段階的に受入人数を調整していく。

○利用者サービスの充実化

- ア) 我が子を預けたいと思う保育の創造を目指し、保育の共有化及び標準化を推進する。
- イ) 新たな保育ニーズに対応した保育サービスの検証と拡充。

○地域包括ケアの推進

- ア) WADAミュージックフェス・中和田夏祭り・KAOフェス・地域子育て講座などを積極的に推進する。
- イ) 離乳食講習会や妊婦体験など地域の新たなニーズに対応した新サービスを積極的に開拓し実行する。

○大規模災害・感染症に対するリスクへの取組

- ア) 危機管理マニュアルの見直し。災害想定訓練及び風水害対策の整備。
- イ) 感染症マニュアルの見直し。

やまと保育園

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	197,080	210,712	▲13,632
事業活動支出	187,055	197,675	▲10,620
事業活動収支差額	10,025	13,037	▲3,012
施設整備等収支	▲600	▲436	▲164
その他収支	▲9,062	▲11,922	2,860
当期資金収支差額	363	679	▲316
稼働率	90.0	93.2	▲3.2

収入面 稼働率90% 地域住民へ施設見学や行事参加の積極的な呼びかけ。

支出面 人件費 業務を見直しし、スリム化を推進する。

経費節減策 法人間共同購入の推進。予算管理の徹底。

やまとさくら保育園



【重点推進事項】

- 育成の推進
 - ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化と人材育成の仕組みを構築する。
 - イ) 個人別年間研修計画の作成、事前事後面談の徹底、
能力に応じた適切な研修受講
- 利用者サービスの充実化
 - ア) 我が子を預けたいと思う保育の創造を目指し、福祉職としての原点に立ち戻り、保育の共有化及び標準化を推進する。
 - イ) 新たな保育ニーズに対応した保育サービスの検証と拡充。
 - ウ) コロナ禍だからこそその発想でSNS を積極的に活用し、地域との交流の土台を構築する
- 大規模災害・感染症に対するリスクへの取組
 - ア) 危機管理マニュアルの見直し。災害想定訓練及び風水害対策の整備。
 - イ) 感染症マニュアルの見直し。感染症防止策を講じた事業の見直し。

やまとさくら保育園

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	158,898	152,637	6,261
事業活動支出	157,181	151,743	5,438
事業活動収支差額	1,717	894	823
施設整備等収支	▲500	0	▲500
その他収支	1,083	1,607	▲524
当期資金収支差額	1,800	1,701	99
稼働率	88.3%	81.6%	6.7%

収入面稼働率88.3%受入年齢の変更を多摩市と協議し、収入増を図る
 支出面備品等の計画的な購入による施設整備の充実を図る
 経費節減策法人間共同購入の推進。予算、備品管理の徹底

多摩市第二小学童クラブ



【重点推進事項】

○ 次世代を担う人材育成の推進

- ア) 幹部候補生の選出、コア人材の育成強化推進・・・内部研修の開催と外部研修の積極的な参加、計画的育成の実施を推進
- イ) 福祉職としてのコンプライアンスの遵守・・・職業倫理研修の実施、参加促進
- ウ) 職員の処遇改善を積極的に推進・・・年次有給休暇の計画的取得を促進

○ 学童クラブの運営について、新規事業について

定員数は第一と第二、第二の2を合わせて135名、待機児童は0名の予定。保護者のテレワークの増加などで児童の退所が増えたことや多摩市の財政逼迫等の判断で定員増は見送られることとなった。テレワーク等の保護者の就業形態の変化に伴い、今後の児童の申請数増減の見極め・対応を考えていく必要がある。

2階の第2は夏期に室内エアコンをかけても異常に過熱するなど育成環境適していないためその場所をフリースペースに切り替え、夏場に2階を使わなくても育成支援を行えるようにする。今後も多摩市と協議し第二の2のエアコンの不具合の改善、必要な機器・備品等についても市とその都度折衝して整えてゆき、今後の定員増に備えていく。

近隣市への学童クラブの民間委託等の公募申請を行う。

○ 地域活動の推進

多摩第二小学校の行事や青少協、PTCA、おやじの会等の地域活動や東寺方児童館、図書館、老人福祉館、コミセンとの交流を持ち、行事等に積極的に参加する

○ 大規模災害・感染症に対するリスクの取組

- ア) 大規模自然災害を想定しての職員・児童の訓練の定期的な実施。備蓄等の確保の推進。
- イ) 現況に合わせた災害対応マニュアル、感染症マニュアルの見直しの実施。

多摩市第二小学童クラブ

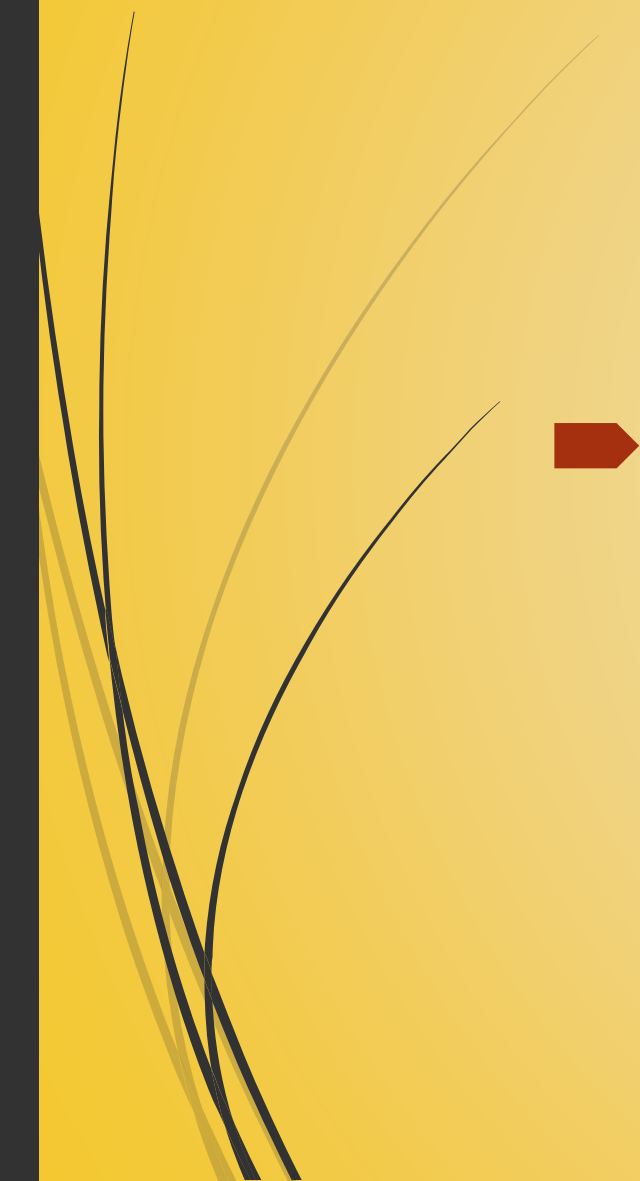

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	72,395,000	67,111,000	5,284,000
事業活動支出	70,132,000	65,088,000	5,044,000
事業活動収支差額	2,263,000	2,023,000	240,000
施設整備等収支	▲200,000	▲200,000	0
その他収支	▲584,000	▲467,000	▲117,000
当期資金収支差額	1,079,000	955,000	124,000
稼働率	95.0%	98.5%	3.5%

収入面 定員135名 現時点での待機児童数 0名

支出面 人件費 今後の定員増、新規事業参画を見越しての正規職員の増配置
手厚い育成支援を実施

経費節減策 法人間共同購入の推進



■ ご清聴ありがとうございました。